

信用金庫再編後の経営改善効果

—— 合併効果の推計 ——*

原田喜美枝**

北村仁代***

概要

マイナス金利政策の導入後、金融機関の収益力低下が懸念されるようになっている。本稿では、地方経済の低迷による貸出減、信用中央金庫への預け金からの利息収入減などが想定される信用金庫業界について、今後の業界再編を占う意味から、合併の効果を明らかにする。2000年前後から急激に増えた再編の時期も含めて分析することで、合併が有効な生き残り手段となるか考察する。

本稿では、1989年から2008年の個別信用金庫の財務データを用いて、再編（合併）に巻き込まれた信用金庫の経営改善効果を検証している。収益性、健全性、効率性の観点から差の検定、パネル分析の固定効果モデルによって合併効果を推計した。具体的には、合併のあった年を基準として、合併前後の期間をとり、合併（または被合併）信用金庫の財務指標の変化が、合併に関与しなかった信用金庫の変化と差があるかどうかを比較する。分析期間中の全合併事例を詳細に調べ、分析対象となる合併事例を抽出し、合併のあった年の前後数年間の財務指標を、合併／被合併信用金庫ごとに集計し、合併のあった信用金庫と、同都道府県内で同期間に一度も合併に関与しなかった信用金庫の財務指標の比較も行っている。

地域金融機関の合併が再び増加傾向にあり、金融機関のあり方が模索されている。合併の効果を明らかにすることで、合併が有効な生き残り手段となるか考察する。

JEL: G21, G34, R11

* 本稿の作成にあたり、一橋大学、金融庁、中央大学企業研究所、金融学会関東部会において報告し、小川一夫氏、花崎正晴氏、柳瀬典由氏、小倉義明氏、高橋豊治氏、本庄裕司氏、藤野次雄氏、松崎栄一氏、西畑一哉氏をはじめ出席者から多くの助言を頂いた。深く感謝します。なお、本論における誤りはすべて筆者達の責任である。

**中央大学商学部 〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

***中央大学 企業研究所 〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

連絡先：le.soleil.sqrt5@gmail.com

HP :